

本機装着に関して自信の無い方はプロショップで装着する事をお勧めいたします。

★取付けにともなう経費等はご負担いただきます。★

◎接続配線作業は図1→図2→図3→図4の順に行ってください、また図5で全体の配線を確認して下さい。

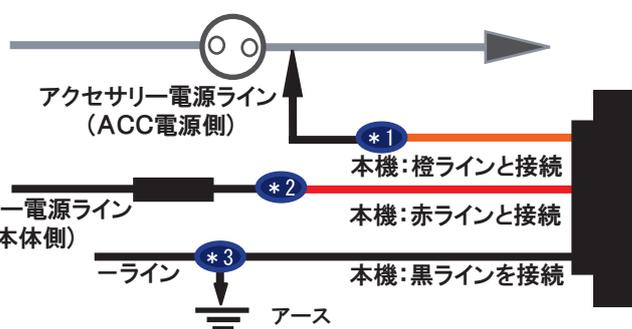
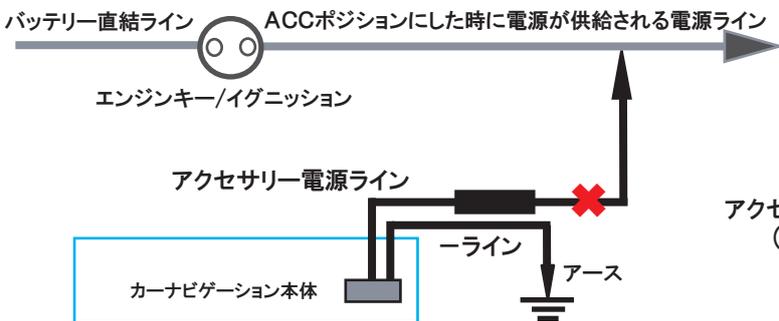
- 装着はナビのアクセサリ電源ラインと+バッテリー電源ラインに割り込み配線をするかたちになります。
- 作業時は電源オフ(鍵を抜いた状態)で行ってください。また、バッテリー直結ラインの取扱いにも十分注意して下さい。

■ = ナビアクセサリラインに含まれるヒューズ又はヒューズ抵抗 (機種によってライン上で確認出来ないナビもあります。)

● = 接続部分(圧着端子等で処理します。) 接続部分の絶縁処理は絶縁テープ等でしっかり行って下さい。

図1 アクセサリ電源ラインへの割り込み接続-1

図2 アクセサリ電源ラインへの割り込み接続-2

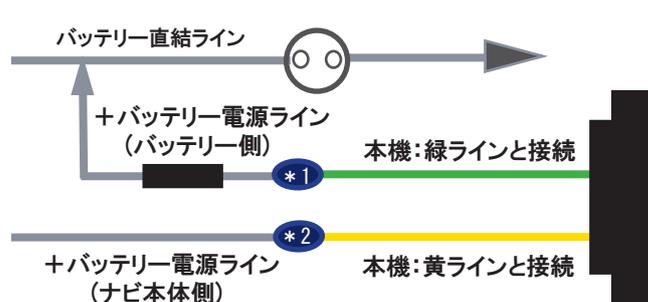
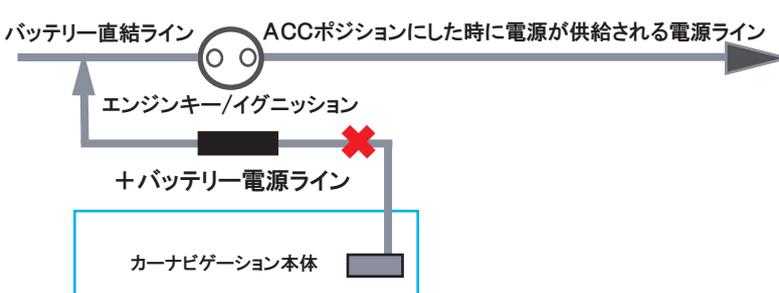


- カーナビ・アクセサリ電源ラインの切断位置(図1)の確認
- 1: ナビのアクセサリ電源ラインを探します。
- 2: アクセサリ電源ラインを✕の位置で切断します。
- \* 切断位置✕は重要です■と車輿ACC電源ラインの間を切断します。
- \* ■が確認出来ないナビの切断箇所はどこでもかまいません。

- 3本の線(赤:橙:黒)を接続します(図2)
- \* 1: アクセサリ電源ACC電源側と本機の橙ラインを繋ぎます。
- \* 2: アクセサリ電源ナビ側と本機の赤ラインを繋ぎます。
- \* 3: マイナスラインの黒をアースに接続します。
- \* カーナビのアースラインへ分岐接続
- \* アースとなるボルトへ接続

図3 +バッテリー電源ラインへの割り込み接続-1

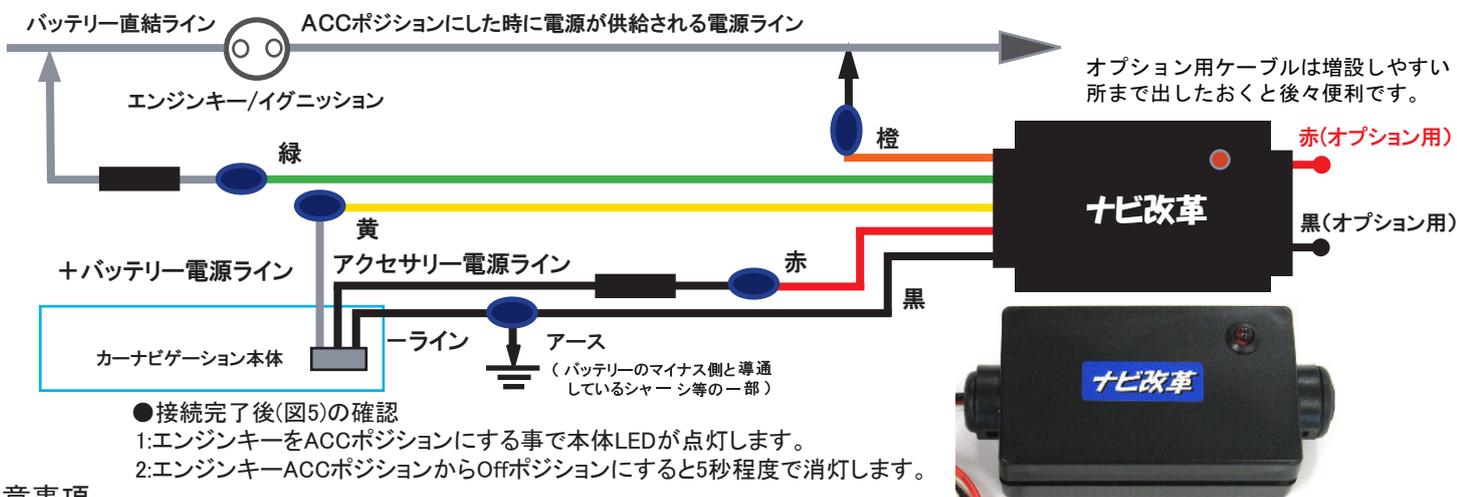
図4 +バッテリー電源ラインへの割り込み接続-2



- カーナビ・+バッテリー電源ラインの切断位置(図3)の確認
- ヒューズがラインに入っている場合は、ヒューズを抜いて作業を行ってください。
- 1: ナビ+バッテリー電源ラインを探します。
- 2: ナビ+バッテリー電源ラインを✕の位置で切断します。
- \* 切断位置✕は■とナビ本体の間を切断します。
- \* ■が確認出来ないナビの切断箇所はどこでもかまいません。

- 2本の線(黄:緑)を接続します(図4)
- \* 1: ナビ+バッテリー電源のバッテリー側と本機の緑ラインを繋ぎます。
- 注意: ラインのヒューズを抜いていない場合は、バッテリー電源12Vがかかっているため扱いには十分注意して下さい。
- \* 2: ナビ+バッテリー電源のナビ側と本機の黄ラインを繋ぎます。

図5 接続完了図



- 接続完了後(図5)の確認
- 1: エンジンキーをACCポジションにする事で本体LEDが点灯します。
- 2: エンジンキーACCポジションからOffポジションにすると5秒程度で消灯します。

注意事項

- 接続作業は圧着端子等でしっかり行って下さい。また、接続部分の絶縁処理も絶縁テープ等でしっかり行って下さい。
- アクセサリ電源ラインの切断位置(割り込み位置)は非常に重要です(図1を参考)。切断位置(割り込み位置)が正しくないと正常な動作をしないばかりではなく、様々な故障の発生につながりますので十分に注意してください。
- エンジンキーOFF(またはキーを抜いた状態)でカーナビ電源が切れるまで5秒程度かかります。
- スピーカー出力(テレビ・DVD音声)をカーナビ本体以外の機器を使用している場合は、本機未使用時と同様にエンジンスター時には数秒間とぎれます。\*カーナビ本体からスピーカー出力を取っている場合は、スピーカー出力復帰の遅れは発生しません。
- 赤(オプション用)ケーブルには常時12V電源がかかっており、ショート等の危険がありますので扱いに注意して下さい。